

学校の教育目標	・「智」 深く考え、すすんで実行する子 ・「仁」 思いやりがある子 ・「勇」 明るくたくましい子		
国が示す総合的な学習の時間の目標			
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。			
学校の総合的な学習の時間の目標			
1 探求的な学習の過程では、学校図書館やインターネットを有効に活用する能力を身に付ける。 2 課題設定、情報の収集、整理、分析、表現の過程では、話し合い活動を重視し、受信者を意識した伝え合いの能力を身に付ける。 3 積極的に社会に参画する過程では、地域の一人として行事に参加するとともに、我が町江戸川を愛する心情を身に付ける。			
育てようとする資質や能力及び態度			
知識・技能			
第3・4学年		第5・6学年	
・課題設定のための豊富な経験。 ・学校図書館やインターネットなどを活用する技能。		・課題解決に必要な基本的な知識。 ・課題解決に必要な情報収集、整理、分析する技能。	
思考・判断・表現			
第3・4学年		第5・6学年	
・他教科や日常生活で得た知識の活用。 ・自身の思いを伝えるための言語を中心とした表現力。		・多方面から比較したり、分析したりする思考力。 ・受信者により的確に伝わる様々なメディアによる表現力。	
主体的に学習に取り組む態度			
第3・4学年		第5・6学年	
・身のまわりから課題を見いだす態度。 ・身に付けた知識や技能を実生活で生かそうとする態度。		・よりよい自分になるための課題を見いだす態度。 ・社会の役に立とうとすすんで行動する態度。	
内 容	学習対象	学習事項	
第3学年	・ 地域の特産物や伝統文化 ・ 発展してゆく地域社会 ・ 授業用タブレット	・ カイコを飼育する。 ・ 自分たちの暮らす葛西地区や江戸川区のよさを知る。 ・ ローマ字打ちを習得し、学習に活用する。	
第4学年	・ 防災や防犯のための安全な町づくり ・ 障がいをもつ人とのかわり ・ 日本の伝統文化	・ 災害の恐ろしさと、防災に備えた地域の取り組みや工夫。 ・ 障がいについて知る。特別支援学級との交流。 ・ 日本の伝統文化にはどのようなものがあるか。	
第5学年	・ 米作りと日本の食 ・ 自然を生かした暮らし ・ 学校のためにできること	・ 稲を育てる苦労や知恵 ・ 自然に触れるマナーやルールと自然を尊重し大切にしようとする態度 ・ 学校のためにできることを考え、高学年としての意識を高める。	
第6学年	・ 日光及び地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々 ・ 三葛西小のリーダーとして ・ 自己の生き方と将来への展望	・ 日光や地域を中心とした、日本の伝統や文化とそのよさ ・ 学年活動や行事を通して、自ら考え学びあい、視野を広げ、課題を見つけて解決する。 ・ 自分自身のよさへの気付きと将来展望	
学習活動		指導方法	指導体制
全学年：学校や地域の歴史を調べる。 3年・えどがわ調査隊 4年・いろいろな人と交流しよう 5年・育て！バケツ稲 ・雪国の生活を知ろう。 6年・日光博士になろう ・将来の自分について考えよう		・児童の課題意識を繋げ新たな課題を産み出す支援 ・児童の深い見取りによる個に応じた支援の重視 ・児童が五感を働かせて試行錯誤できる体験活動の工夫 ・言語活動を適切に位置づけた、体験の意味の自覚化	・学年部を中心とした指導とサポートの体制を構築する ・地域の人材開拓と人材バンクの登録や効果的な運用
			学習の評価
			・自己評価につながるワークシートの導入とその分析。 ・人とのかわりを通した活動状況や気付きの重視。